



## **Cisco IP Phone 7800 シリーズ マルチプラットフォーム フォン ユーザ ガイド (ファームウェア リリース 11.0(0) 用)**

初版 : 2017 年 04 月 07 日

### **シスコシステムズ合同会社**

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先 : シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間 : 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

**FCC クラス A 準拠装置に関する記述：**この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

**FCC クラス B 準拠装置に関する記述：**この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。干渉しているかどうかは、装置の電源のオン/オフによって判断できます。

- 受信アンテナの向きや設置場所を変える。
- 機器と受信装置の距離を広げる。
- 受信装置が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する。
- 販売店またはラジオやテレビの専門技術者に問い合わせる。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うこととなります。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記供給者は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、あるいは、取り扱い、使用、または取引慣行によって発生するあらゆる保証に関して、明示的、黙示的を問わず責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコや米国および他の国の関連会社の商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> で参照できます。本書に記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者の財産です。「パートナー」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません (1110R)。



## 目次

### 電話機 1

Cisco IP Phone 7800 シリーズ 1

新機能および変更された機能 2

ファームウェア リリース 11.0 の新機能および変更された機能 2

ファームウェア リリース 10.4(1)SR1 の新機能および変更された機能 5

ファームウェア リリース 10.4(1) の新機能および変更された機能 5

電話機のセットアップ 6

ハンドセット レストの調整 6

電話機の設置角度の変更 6

ネットワークへの接続 7

電話機の初回起動時にパスワードを設定する 7

別の電話機から内線にサインインする 7

別の電話機で内線からサインアウトする 8

ゲストとして電話機にサインインする 8

ゲストとして電話機からサインアウトする 8

電話機のプロファイル ルールの設定 9

同僚の回線をモニタする 9

[設定ユーティリティ (Configuration Utility) ] ページ 10

短縮ダイヤル番号 11

ボタンとハードウェア 12

ナビゲーション 14

ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン 15

電話スクリーンの機能 16

電話スクリーンのクリーニング 16

コールと回線の違い 16

電力要件 17

省電力 17

追加のヘルプと情報	17
アクセシビリティ機能	18
トラブルシューティング	18
電話機についての情報を取得する	18
電話機のカスタマイズ状態の表示	19
ネットワーク ステータスの表示	20
電話機ステータスの表示	21
電話機のステータス メッセージの表示	21
回線ステータスの表示	22
トランザクション ステータスの表示	22
リポート履歴の表示	22
電話機のすべての問題を報告する	23
電話機の接続の切断	23
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	23
通話	25
コールの発信	25
電話をかける	25
スピーカーフォンによるコールの発信	26
ヘッドセットによるコールの発信	26
番号をリダイヤルする	26
短縮ダイヤル	27
電話スクリーンからの短縮ダイヤル コードの割り当て	27
短縮ダイヤル コードを使用したコールの発信	27
回線キーの短縮ダイヤルを設定する	28
回線キーから短縮ダイヤルを削除する	28
国際番号のダイヤル	28
安全なコール	29
コールへの応答	29
コールに応答する	29
コール待機への応答	29
コールの拒否	30
応答不可をオンにする	30

スター コードを使用して DND をオンまたはオフにする	30
同僚の電話機に応答する (コール ピックアップ)	31
グループ内のコールに応答する (ピックアップ)	31
コールのミュート	31
コールの保留	31
コールを保留にする	31
長時間にわたって保留されているコールに応答する	32
アクティブ コールと保留コールの切り替え	32
コールパーク	32
コールパークを使用してコールを保留にする	33
コールパークを使用して保留中コールを取得する	33
コールの転送	34
設定ユーティリティを使用して特定の状況でコールを転送する	34
通話の転送	35
別のユーザにコールを転送する	35
転送を行う前の会話	35
電話会議とミーティング	36
他の人をコールに追加する	36
電話機のグループのページング (マルチキャスト ページング)	36
複数の回線	37
最も古いコールから応答	37
電話機ですべてのコールを表示する	37
共有回線	37
[共有回線 (Shared Line) ] のコールに参加する	38
連絡先	39
社内ディレクトリ	39
社内ディレクトリの連絡先のダイヤル	39
Broadsoft ディレクトリ	40
Broadsoft ディレクトリ内の連絡先の検索 (簡易検索)	40
BroadSoft ディレクトリ内の連絡先の検索 (詳細検索)	40
Broadsoft ディレクトリ内の連絡先タイプの編集	41
BroadSoft ディレクトリ名の編集	41

Broadsoft ディレクトリのサーバ名の編集	42
Broadsoft ディレクトリのユーザ ID の編集	42
Broadsoft ディレクトリのパスワードの編集	43
LDAP ディレクトリ	43
LDAP ディレクトリ内の連絡先の検索	43
個人アドレス帳	44
個人アドレス帳への新しい連絡先の追加	44
設定ユーティリティを使用した個人用アドレス帳への新規連絡先の追加	44
個人アドレス帳内の連絡先の検索	45
個人アドレス帳内の連絡先の発信	45
個人アドレス帳内の連絡先の編集	45
個人アドレス帳からの連絡先の削除	46
通話履歴	47
通話履歴リスト	47
最近の通話履歴を表示する	47
最近の通話履歴に戻る	48
最近の通話履歴を消去する	49
履歴レコードから連絡先を作成する	49
コール レコードの削除	49
すべての通話レコードを削除する	50
ボイスメール	51
ボイスメール アカウント	51
電話機のボイスメールのセットアップ	51
新しいボイス メッセージの確認	52
ボイスメールへのアクセス	52
音声ボイスメールへのアクセス	52
設定	55
呼出音の変更	56
設定ユーティリティを使用して内線番号に呼出音を割り当てる	56
電話機から特定の状況でコールを転送する	56
特定の回線で応答不可をオンにする	57
設定ユーティリティからすべての回線の DND をオンにする	58

非通知着信を拒否する	58
発信者 ID の表示のブロック	59
コールの保護	59
自動応答ページのセットアップ	60
ボイスメールのセットアップ	60
表示モードの変更	61
時間形式の変更	61
日付形式の変更	61
スクリーンセーバーの変更	62
設定ユーティリティを使用してスクリーンセーバーを設定する	63
コントラストの調整	64
電話スクリーンのバックライトの調整	65
設定ユーティリティからバックライト タイマーを調整する	65
言語の設定	66
パスワードの設定	66
<b>アクセサリ</b>	<b>67</b>
サポートされるアクセサリ	67
ヘッドセット	68
標準ヘッドセット	68
標準ヘッドセットの接続	68
ワイドバンド標準ヘッドセットのセットアップ	68
USB ヘッドセット	69
USB ヘッドセットの接続	69
ワイヤレス ヘッドセット	69
電子フックスイッチ ヘッドセットの有効化	70
通話中のヘッドセットの切り替え	70
<b>製品安全性とセキュリティ</b>	<b>73</b>
安全性とパフォーマンスに関する情報	73
停電	73
外部デバイス	73
電話機に電源を供給する方法	74
ネットワーク輻輳時の電話機の挙動	74

FCC 準拠宣言 74

FCC Part 15.21 に関する宣言 74

FCC RF 被曝に関する宣言 75

FCC レシーバおよびクラス B デジタル装置に関する宣言 75

シスコ製品のセキュリティの概要 75

重要なオンライン情報 75





# 第 1 章

## 電話機

- [Cisco IP Phone 7800 シリーズ, 1 ページ](#)
- [新機能および変更された機能, 2 ページ](#)
- [電話機のセットアップ, 6 ページ](#)
- [別の電話機から内線にサインインする, 7 ページ](#)
- [ゲストとして電話機にサインインする, 8 ページ](#)
- [電話機のプロファイルルールの設定, 9 ページ](#)
- [同僚の回線をモニタする, 9 ページ](#)
- [\[設定ユーティリティ \(Configuration Utility\) \] ページ, 10 ページ](#)
- [ボタンとハードウェア, 12 ページ](#)
- [電力要件, 17 ページ](#)
- [省電力, 17 ページ](#)
- [追加のヘルプと情報, 17 ページ](#)

## Cisco IP Phone 7800 シリーズ

Cisco IP Phone 7811、7821、7841、および 7861 は、使いやすく高度にセキュアな音声通信を可能にします。



表 1 : Cisco IP Phone 7800 シリーズの主な機能

機能	7811	7821	7841	7861
画面	グレースケール、 バックライトなし	グレースケール、 バックライトあり	グレースケール、 バックライトあり	グレースケール、 バックライトあり
線	1	2	4	16
固定機能キー	8	9	9	9

電話機を使用するには、電話機をネットワークに接続して、コール制御システムに接続するように設定する必要があります。コール制御システムに応じて、さまざまな機能が電話機でサポートされます。管理者が電話機をセットアップする方法によっては、すべての機能を電話機で使用できるとは限りません。

## 新機能および変更された機能

### ファームウェア リリース 11.0 の新機能および変更された機能

リビジョン	更新されたセクション
電話機のボイスメールセットアップを追加。	<a href="#">電話機のボイスメールのセットアップ</a> , (51 ページ)
電話機のカスタマイズ状態の表示を追加	<a href="#">電話機のカスタマイズ状態の表示</a> , (19 ページ)
DND スター コードのサポートを追加	<a href="#">スター コードを使用して DND をオンまたはオフにする</a> , (30 ページ)
ゲスト サインインのサポートを追加	<a href="#">ゲストとして電話機にサインインする</a> , (8 ページ)
通話履歴レコードからの連絡先の作成を追加	<a href="#">履歴レコードから連絡先を作成する</a> , (49 ページ)
ユーザ パスワードの追加を追加	<a href="#">電話機の初回起動時にパスワードを設定する</a> , (7 ページ)
表示モードの変更を追加	<a href="#">表示モードの変更</a> , (61 ページ)

リビジョン	更新されたセクション
設定ユーティリティでの特定の状況でのコール転送を追加	設定ユーティリティを使用して特定の状況でコールを転送する, (34 ページ)
電話機からの特定の状況でのコール転送を追加	電話機から特定の状況でコールを転送する, (56 ページ)
電話機のボイスメールのセットアップを追加	電話機のボイスメールのセットアップ, (51 ページ)
回線ステータスの表示を追加	回線ステータスの表示, (22 ページ)
ネットワーク ステータスの表示を追加	ネットワーク ステータスの表示, (20 ページ)
電話機ステータスの表示を追加	電話機ステータスの表示, (21 ページ)
プロファイル ルールの表示を追加	電話機のプロファイル ルールの設定, (9 ページ)
リブート履歴の表示を追加	リブート履歴の表示, (22 ページ)
トランザクション ステータスの表示を追加	トランザクションステータスの表示, (22 ページ)
設定ユーティリティ ページでのパーソナルディレクトリへの新規連絡先の追加のサポートを追加	設定ユーティリティを使用した個人用アドレス帳への新規連絡先の追加, (44 ページ)
設定ユーティリティを使用した呼出音の割り当てを追加	設定ユーティリティを使用して内線番号に呼出音を割り当てる, (56 ページ)
コール転送機能を更新	コールの転送, (34 ページ)
USB ヘッドセットのサポートを更新	USB ヘッドセット, (69 ページ)

リビジョン	更新されたセクション
個人用アドレス帳を機能追加により更新	<p>個人アドレス帳, (44 ページ)</p> <p>個人アドレス帳への新しい連絡先の追加, (44 ページ)</p> <p>個人アドレス帳内の連絡先の検索, (45 ページ)</p> <p>個人アドレス帳内の連絡先の発信, (45 ページ)</p> <p>個人アドレス帳内の連絡先の編集, (45 ページ)</p> <p>個人アドレス帳からの連絡先の削除, (46 ページ)</p>
BroadSoft ディレクトリ編集の機能強化を更新	<p>Broadsoft ディレクトリ内の連絡先タイプの編集, (41 ページ)</p> <p>BroadSoft ディレクトリ名の編集, (41 ページ)</p> <p>Broadsoft ディレクトリのサーバ名の編集, (42 ページ)</p> <p>Broadsoft ディレクトリのユーザ ID の編集, (42 ページ)</p> <p>Broadsoft ディレクトリのパスワードの編集, (43 ページ)</p>
ボイスメールのサポートを更新	新しいボイスメッセージの確認, (52 ページ)
共用回線のサポートを更新	共有回線, (37 ページ)
拡張回線モードのサポートを更新	<p>ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン, (15 ページ)</p> <p>ナビゲーション, (14 ページ)</p> <p>コールと回線の違い, (16 ページ)</p>
通話履歴のサポートを更新	通話履歴リスト, (47 ページ)
スクリーンセーバーのサポートを更新	スクリーンセーバーの変更, (62 ページ)
エラーレポートツールのサポートを更新	電話機のすべての問題を報告する, (23 ページ)

リビジョン	更新されたセクション
DND のサポートを更新	<p>応答不可をオンにする, (30 ページ)</p> <p>特定の回線で応答不可をオンにする, (57 ページ)</p>

## ファームウェア リリース 10.4(1)SR1 の新機能および変更された機能

リビジョン	更新されたセクション
マルチキャスト ページングのサポートを追加	電話機のグループのページング (マルチキャスト ページング), (36 ページ)

## ファームウェア リリース 10.4(1) の新機能および変更された機能

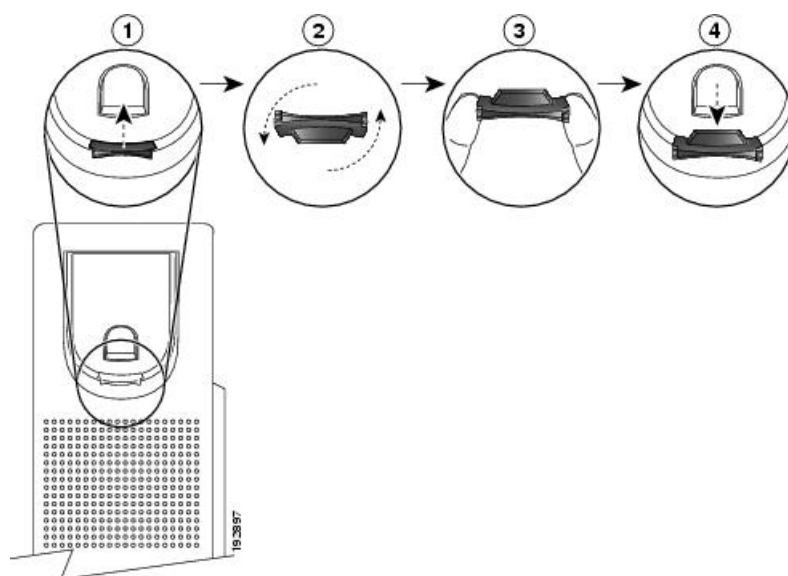
リビジョン	更新されたセクション
エラー レポート ツールのサポートを追加	電話機のすべての問題を報告する, (23 ページ)
回線キーの短縮ダイヤルのサポートを追加	<p>回線キーの短縮ダイヤルを設定する, (28 ページ)</p> <p>回線キーから短縮ダイヤルを削除する, (28 ページ)</p>
プロビジョニング権限のサポートを追加	<p>別の電話機から内線にサインインする, (7 ページ)</p> <p>別の電話機で内線からサインアウトする, (8 ページ)</p>
ビジー ランプ フィールドのサポートを追加	同僚の回線をモニタする, (9 ページ)
コール パークのサポートを更新	<p>コール パーク, (32 ページ)</p> <p>コール パークを使用してコールを保留にする, (33 ページ)</p> <p>コールパークを使用して保留中コールを取得する, (33 ページ)</p>

## 電話機のセットアップ

通常、電話機のセットアップとネットワーク接続は管理者が行います。お手元の電話機のセットアップと接続が完了していない場合は、管理者に問い合わせてください。

### ハンドセットレストの調整

電話機が壁に取り付けられている場合、またはハンドセットが受け台からすぐに滑り落ちる場合には、受話器が受け台から滑り落ちないようにハンドセットレストを調整する必要があります。



#### 手順

- 
- ステップ1 受け台からハンドセットを外し、ハンドセットレストからプラスチック タブを引き出します。
  - ステップ2 タブを 180 度回します。
  - ステップ3 角のノッチが手前になるように、2 本指でタブを持ちます。
  - ステップ4 タブを受け台のスロットに合わせ、タブをスロット内に均等に押し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。
  - ステップ5 ハンドセットをハンドセットレストに戻します。
- 

### 電話機の設置角度の変更

画面上のグレアを除去するために電話機の角度を変更することができます。

## 手順

- ステップ1 電話機をネットワークから切り離します。
- ステップ2 キーパッドが机の表面を向くように電話機を配置します。
- ステップ3 一方の手でフットスタンドの片側を持ち、もう一方の手を電話機の上に置きます。
- ステップ4 電話機を押さえながら、フットスタンドを持ち上げます。
- ステップ5 フットスタンドをひっくり返します。
- ステップ6 フットスタンドが固定されるまでフットスタンドを電話機に押し込みます。
- ステップ7 電話機を立ててネットワークに接続します。

## ネットワークへの接続

電話機は、電話ネットワークに接続される必要があります。

- 有線接続：イーサネット ケーブルを使用して電話機をネットワークにつなげます。

## 電話機の初回起動時にパスワードを設定する

初めて電話機が起動するときに、パスワードを設定するように促すプロンプトが表示される場合があります。プロンプトが表示されない場合は、管理者が代理でパスワードを作成しました。

### 手順

- ステップ1 [新しいパスワード (New password) ] フィールドと [新しいパスワードの再入力 (Reenter new password) ] フィールドにパスワードを入力します。
- ステップ2 [保存 (Save) ] を押します。

## 別の電話機から内線にサインインする

Extension Mobility (EM; エクステンション モビリティ) が設定されている場合、ネットワーク内の別の電話機にサインインして、それを自分の電話機と同じように動作させることができます。サインインすると、電話機はユーザのパーソナル ディレクトリ番号を採用します。

## 手順

- 
- ステップ1 [サインイン (Sign in) ]を押します。
- ステップ2 ユーザ名とパスワードを入力し、[サインイン (Sign in) ]を押します。
- 

## 別の電話機で内線からサインアウトする

## 手順

- [サインアウト (Sign out) ]を押します。

## ゲストとして電話機にサインインする

ネットワーク内の別の電話機にゲストとしてサインインできます。

## 手順

- 
- ステップ1 [ログイン (Log In) ]を押します。
- ステップ2 ユーザ ID とパスワードを入力します。
- ステップ3 [保存 (Save) ]を押します。
- 

## ゲストとして電話機からサインアウトする


## 手順

- 
- ステップ1 [ゲストアウト (Guest Out) ]を押します。
- ステップ2 [サインアウト (Sign Out) ]を押します。
-



# 電話機のプロファイルルールの設定

## 手順

- 
- ステップ 1** [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ 2** [デバイス管理 (Device administration) ] > [プロファイルルール (Profile rule) ] を選択します。
- ステップ 3** [再同期 (Resync) ] を押します。
- 

## 同僚の回線をモニタする

ビジーランプフィールド機能を使用すると、同僚またはスーパーバイザの回線ステータスをモニタできます。この機能は、定期的に同僚のコールを処理し、コールに応答できるかどうかを確認する必要がある場合に役立ちます。

この機能を電話機に設定すると、回線キーに次の LED カラーが表示されます。

- 緑色の LED : モニタ対象の回線は使用可能です。
- 赤色の LED : モニタ対象の回線は話中です。
- 赤色の高速点滅 LED : モニタ対象の回線に対するコールの呼出音が鳴っています。
- オレンジ色の LED : この機能のセットアップ時に設定エラーが発生しました。

電話機には、受信するコールの発信者 ID が表示されます。モニタ対象の回線の場合、発信者 ID は表示されません。

この機能を短縮ダイヤルやコールピックアップとともに使用すると、柔軟性を高めることができます。機能の組み合わせに基づいて、電話機に表示されるアイコンが異なる場合があります。次の表に、各機能の組み合わせに基づいて、さまざまなビジーランプフィールドアイコンを示します。

表 2 : Cisco IP Phone 7800 シリーズのビジー ランプ フィールド アイコン

	ビジー ランプ フィールド	ビジー ランプ フィールドと短縮 ダイヤル	ビジー ランプ フィールドと コール パーク	ビジー ラ ンプ フィールド とコール ピックアッ プ	ビジー ランプ フィールドと短縮 ダイヤルとコール ピックアップ	ビジー ラ ンプ フィールドと短縮 ダイヤル とコール パーク	ビジー ランプ フィールドと コール ピック アップとコー ルパーク	ビジー ランプ フィールドと 短縮ダイヤル とコール ピッ クアップと コールパーク
アイドル								
アラート								
利用中								
通話が 保留さ れました	-	-		-	-			
エラー								

## [設定ユーティリティ (Configuration Utility) ] ページ

一部の電話機設定は、コンピュータから [設定ユーティリティ (Configuration Utility) ] ページにアクセスしてカスタマイズすることができます。ページの URL、ユーザ ID およびパスワードは管理者から与えられます。

[設定ユーティリティ (Configuration Utility) ] ページでは、電話機の機能、回線設定、および電話サービスを制御できます。

- 電話機の機能には短縮ダイヤル、サイレント機能、個人用アドレス帳などがあります。
- [回線 (Line) ] の設定は、電話機の特定の電話回線 (電話番号) に影響します。回線設定には、不在転送、ビジュアルおよびオーディオメッセージインジケータ、呼出音のパターン、その他の回線固有の設定が含まれます。

次の表に、[設定ユーティリティ (Configuration Utility) ] ページを使用して設定する一部の機能の説明を示します。

機能	説明
コール転送	電話機でコール転送が有効になっている場合に、コールを受信する番号を指定します。[設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページを使用して、より複雑なコール転送機能 (回線がビジー状態の場合の動作など) をセットアップします。
短縮ダイヤル	短縮ダイヤル番号に電話番号を割り当てると、その相手にすばやくコールをかけることができます。
呼出音	特定の回線に呼出音を割り当てます。
パーソナル ディレクトリの連絡先	[設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページを使用して、パーソナルディレクトリに連絡先を追加します。

#### 関連トピック

- [短縮ダイヤル, \(27 ページ\)](#)
- [コールの転送](#)

## 短縮ダイヤル番号

電話機で番号をダイヤルする際には、一連の数字 (ディジット) を入力します。短縮ダイヤル番号を設定する際には、コールに必要なすべてのディジットを短縮ダイヤル番号に含める必要があります。たとえば、外線と通話するために最初に 9 をダイヤルする必要がある場合は、9 に続けて相手の番号を入力します。

また、ダイヤルする他のディジットを番号に追加することもできます。追加のディジットの例として、会議アクセスコード、内線、ボイスメールパスワード、承認コード、課金コードなどがあります。

ダイヤル文字列に含めることができる文字はつぎのとおりです。

- 0 ~ 9
- ポンド (#)
- アスタリスク (\*)
- カンマ (,) : これは一時停止文字であり、2 秒間遅延した後でダイヤルを続けます。複数のカンマを連続させることができます。たとえば、2 個のカンマ (,,) は、4 秒間のポーズを表します。

ダイヤル文字列の規則は次のとおりです。

- ダイヤル文字列の各部分を分離するには、カンマを使用します。
- 短縮ダイヤル文字列では、常に課金コードの前に承認コードを含める必要があります。

- 文字列内の承認コードと課金コードの間には1つのカンマが必要です。
- 承認コードおよび追加のディジットを含む短縮ダイヤルには、短縮ダイヤルラベルが必要です。

短縮ダイヤルを設定する前に、ディジットを手動で少なくとも1回ダイヤルしてみて、内容が正しいことを確認してください。



(注) 短縮ダイヤルの承認コード、課金コード、および追加のディジットは、電話機の通話履歴に保存されません。短縮ダイヤルを使って通話先に接続した後で[リダイヤル (Redial)] を押すと、必要な承認コード、課金コード、または追加のディジットを手動で入力するよう求められます。

### 例

承認コードと課金コードが必要な状況で、特定の内線の相手に電話するために短縮ダイヤル番号をセットアップするには、次の要件を考慮してください。

- 外線の9をダイヤルする必要があります。
- 通話先の番号は5556543です。
- 承認コード1234を入力する必要があります。
- 課金コード9876を入力する必要があります。
- 4秒ほど待機します。
- 電話がつながった後、内線56789#をダイヤルする必要があります。

このシナリオでは、短縮ダイヤル番号は95556543,1234,9876,,56789#となります。

## ボタンとハードウェア


Cisco IP Phone 7800 シリーズには、さまざまなハードウェアタイプがあります。

- Cisco IP Phone 7821：画面の左側に2つのボタン
- Cisco IP Phone 7841：画面の両側に2つのボタン
- Cisco IP Phone 7861：画面の右側に16個のボタン

次の図に、Cisco IP Phone 7841 を示します。

図 1: Cisco IP Phone 7800 シリーズのボタンと機能



1	ハンドセットとハンドセットライトストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）があるかどうかを示します。
2	プログラム可能な機能ボタンと回線ボタン	☐ 電話回線、機能、コールセッションにアクセスできます。 詳細については、 <a href="#">ソフトキー</a> 、 <a href="#">回線ボタン</a> 、 <a href="#">機能ボタン</a> 、 <a href="#">(15 ページ)</a> を参照してください。
3	ソフトキー ボタン	☐: 機能とサービスにアクセスします。 詳細については、 <a href="#">ソフトキー</a> 、 <a href="#">回線ボタン</a> 、 <a href="#">機能ボタン</a> 、 <a href="#">(15 ページ)</a> を参照してください。
4	ナビゲーション クラスタ	ナビゲーション リングと [選択 (Select)]  ボタン。メニューをスクロールしたり、項目を強調表示したり、強調表示されている項目を選択したりします。

5	[保留/再開 (Hold/Resume) ]、[会議 (Conference) ]、および[転送 (Transfer) ]	<p>[保留/再開 (Hold/Resume) ]  : アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。</p> <p>[会議 (Conference) ]  : 電話会議を作成します。</p> <p>[転送 (Transfer) ]  : コールを転送します。</p>
6	[スピーカフォン (Speakerphone) ]、[ミュート (Mute) ]、および[ヘッドセット (Headset) ]	<p>[スピーカフォン (Speakerphone) ]  : スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。</p> <p>[ミュート (Mute) ]  : マイクフォンのオン/オフを切り替えます。マイクフォンが [ミュート (Mute) ] になっているとき、ボタンは点灯しています。</p> <p>[ヘッドセット (Headset) ]  : ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっているときは、ボタンが点灯します。</p>
7	[連絡先 (Contacts) ]、[アプリケーション (Applications) ]、および[メッセージ (Messages) ]	<p>[連絡先 (Contacts) ]  : 個人用ディレクトリや社内ディレクトリにアクセスします。</p> <p>[アプリケーション (Applications) ]  : 通話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、電話機のモデル情報にアクセスします。</p> <p>[メッセージ (Messages) ]  : ボイス メッセージングシステムを自動的にダイヤルします。</p>
8	[音量 (Volume) ] ボタン	 <p>ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの音量 (オフフック) と呼出音の音量 (オンフック) を調整します。</p>

## ナビゲーション

ナビゲーション クラスタの外側のリングを使用して、メニューおよび回線間をスクロールします。ナビゲーション クラスタの内側の [選択 (Select) ] ボタンを使用して、項目を選択します。







メニュー項目にインデックス番号がある場合、キーパッドでインデックス番号を入力して項目を選択できます。

## ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン

電話機で対話式に機能进行操作する方法がいくつかあります。

- スクリーンの下にあるソフトキーを使用すると、スクリーンでソフトキーの上に表示される機能にアクセスできます。ソフトキーは、その時点で行っている操作に応じて変化します。[次へ (More...)] ソフトキーは、さらに多くの機能が使用可能であることを示します。
- スクリーンの両側にある機能ボタンと回線ボタンを使用すると、電話機能および電話回線にアクセスできます。
  - 機能ボタン：[短縮ダイヤル (Speed dial)] や [コールピックアップ (Call pickup)] などの機能、および別の回線のステータスの表示に使用されます。
  - 回線ボタン：コールの発信または応答、または保留中のコールの再開に使用されます。また、回線キーを使用すると、コールセッションウィンドウの開閉、およびコールセッションウィンドウ内の移動を行うこともできます。回線のコールを表示するには、コールセッションウィンドウを開きます。

機能ボタンと回線ボタンの点灯は、次のようなステータスを示します。

-  緑：回線がアイドル状態です。
-  赤、点灯：回線がアクティブ状態または使用中です。
-  赤、点滅：回線が保留中、または着信コールがあります。
-  オレンジ、点灯：回線が未登録です（使用できません）。

管理者は、いくつかの機能をソフトキーまたは機能ボタンとして設定できます。さらに、ソフトキーや関連するハードボタンを使っていくつかの機能にアクセスすることもできます。

## 電話スクリーンの機能

電話スクリーンには、電話番号、アクティブコールと回線のステータス、ソフトキー、短縮ダイヤル、発信履歴、電話メニューのリストなど、その電話機に関する情報が表示されます。スクリーンにはヘッダー行、中央セクション、フッター行の3つのセクションがあります。

図 2 : Cisco IP Phone 7800 の画面



1	スクリーンの最上部にはヘッダー行があります。ヘッダー行には、電話番号と現在の日時のほかに、さまざまなアイコンが表示されます。該当する機能がアクティブであるときに、アイコンが表示されます。
2	電話スクリーンの中央部には、電話機の回線と機能ボタンに関連した情報が表示されます。
3	スクリーン下部にはソフトキーラベルの行があります。各ラベルは、スクリーンの下にあるソフトキー ボタンのアクションを示しています。

## 電話スクリーンのクリーニング

### 手順

電話スクリーンが汚れたら、乾いた柔らかい布で拭いてください。

**注意** 液体や粉末は電話機に対して使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

## コールと回線の違い

本書で電話機の使用法を説明する際に使っている回線およびコールという用語には、かなり独特な意味合いがあります。

- 回線：回線は、他人が自分へのコールに使用できる電話番号またはインターコム番号にそれぞれ対応しています。回線の数は、電話番号および電話回線アイコンの数と同じです。



- コール：1本の回線で複数のコールをサポートできます。デフォルトで、電話機は1つの回線につき2つの接続コールをサポートしますが、管理者は必要に応じてこの数を調整できます。

アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

たとえば2つの回線があり、各回線で4つのコールがサポートされる場合、一度に最大8つの接続コールが存在する可能性があります。これらのうち1つだけがアクティブで、他の7つは保留中のコールとなります。

## 電力要件

Cisco IP Phone 7800 シリーズでは、次のシスコ承認の電源アダプタを使用する必要があります。

- Phihong 社製アダプタ (PSC18U-480)、定格：48 VDC 0.38 A
- Delta 社製アダプタ (EADP-18VB B)、定格：48 VDC 0.375 A

## 省電力

管理者は、電話機を使用していないときに電話スクリーンで消費される電力を減らすことができます。管理者がセットアップできる省電力のレベル：

- 省電力：電話機が一定時間にわたって非アクティブ状態になるとバックライトや画面がオフになります。

バックライトを管理することができます。

### 関連トピック

[電話スクリーンのバックライトの調整](#)、(65 ページ)

## 追加のヘルプと情報

電話機で利用可能な機能について不明な点がある場合は、管理者にお問い合わせください。

シスコ Web サイト (<http://www.cisco.com>) には、電話機およびコール制御システムについての詳細情報が掲載されています。

- クイック スタート ガイドおよびエンドユーザ ガイド (英語) については、次のリンクを参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/products-user-guide-list.html>

- 英語以外のガイドについては、次のリンクを参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/tsd-products-support-translated-end-user-guides-list.html>

- ライセンス情報については、次のリンクを参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/products-licensing-information-listing.html>

## アクセシビリティ機能

Cisco IP Phones は、視覚障がい者、聴覚障がい者、身体障がい者のために、ユーザ補助機能を備えています。

これらの電話機のアクセシビリティ機能の詳細については、<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/products-technical-reference-list.html> を参照してください。

アクセシビリティの詳細については、次のシスコ Web サイトにも記載されています。

<http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html>

## トラブルシューティング

コール品質の問題や、コールが予期せず切断される、機能が突然正常に動作しなくなるなどの問題が発生する場合があります。これらの問題は、次の状態に関連している可能性があります。

- 電話機がコール制御システムと通信できない。
- コール制御システムの通信上の問題、または内部的な問題。
- 電話機の内部的な問題。

問題が発生する場合は、管理者の支援のもとで問題の根本原因をトラブルシューティングすることができます。

## 電話機についての情報を取得する

管理者から、電話機についての情報を提供するように求められることがあります。この情報は、トラブルシューティングの目的で電話機を一意に識別します。

### 手順

**ステップ 1** [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。

**ステップ 2** [ステータス (Status) ] > [製品情報 (Product information) ] を選択します。  
以下の情報を確認できます。

- [製品名 (Product name) ] : Cisco IP Phone の型番。

- [シリアル番号 (Serial number) ] : Cisco IP Phone のシリアル番号。
- [MAC アドレス (MAC address) ] : Cisco IP Phone のハードウェア アドレス。
- [ソフトウェア バージョン (Software version) ] : Cisco IP Phone ファームウェアのバージョン番号。
- [ハードウェア バージョン (Hardware version) ] : Cisco IP Phone ハードウェアのバージョン番号。
- [証明書 (Certificate) ] : ITSP ネットワークで使用する Cisco IP Phone を認証するクライアント証明書のステータス。このフィールドは、クライアント証明書が電話機に正常にインストールされているかどうかを示します。
- [カスタマイズ (Customization) ] : RC ユニットの場、このフィールドはユニットがカスタマイズされているかどうかを示します。[保留中 (Pending) ] は、プロビジョニングの準備ができていない新しい RC ユニットのを示します。ユニットがすでにカスタマイズされたプロファイルを取得している場合、このフィールドの [カスタマイズ (Customization) ] 状態は [取得済み (Acquired) ] と表示されます。

**ステップ 3** [終了 (Exit) ] を押します。

---

## 電話機のカスタマイズ状態の表示

EDOS サーバからの RC ダウンロードが完了すると、LCD UI で電話機のカスタマイズ状態を確認できます。

リモート カスタマイズ状態の説明は次のとおりです。


- [オープン (Open) ] : 電話機は初めて起動され、設定されていません。
- [中断 (Aborted) ] : リモートカスタマイズは、DHCP オプションなどのその他のプロビジョニングが原因で中断されました。
- [保留中 (Pending) ] : プロファイルが EDOS サーバからダウンロードされました。
- [カスタム保留中 (Custom-Pending) ] : 電話機が EDOS サーバからリダイレクト URL をダウンロードしました。
- [取得済み (Acquired) ] : EDOS サーバからダウンロードしたプロファイル内に、プロビジョニング設定用のリダイレクト URL が存在します。プロビジョニング サーバからのリダイレクト URL ダウンロードが成功すると、この状態が表示されます。
- [利用不可 (Unavailable) ] : EDOS サーバの応答が空のプロビジョニング ファイルであり、HTTP 応答が 200 OK であったため、リモート カスタマイズは停止しました。

## 手順

- 
- ステップ 1** [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ 2** [ステータス (Status) ] > [製品情報 (Product information) ] > [カスタマイズ (Customization) ] を選択します。
- ステップ 3** [戻る (Back) ] を押します。
- 

## ネットワーク ステータスの表示

## 手順


- 
- ステップ 1** [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ 2** [ステータス (Status) ] > [ネットワーク ステータス (Network Status) ] を選択します。  
以下の情報を確認できます。
- [ネットワーク タイプ (Network type) ] : 電話機が使用するローカル エリア ネットワーク (LAN) のタイプを示します。
  - [ネットワーク ステータス (Network status) ] : 電話機がネットワークに接続されているかどうかを示します。
  - [IP アドレス (IP address) ] : 電話機の IP アドレス。
  - [VLAN ID] : 電話機の VLAN ID。
  - [アドレッシング タイプ (Addressing type) ] : 電話機で DHCP またはスタティック IP のどちらが有効になっているかどうかを示します。
  - [IP ステータス (IP status) ] : 電話機が使用する IP のステータス。
  - [サブネット マスク (Subnet mask) ] : 電話機で使用されるサブネット マスク。
  - [デフォルト ルータ (Default router) ] : 電話機で使用される、デフォルト ルータ。
  - [DNS 1] : 電話機が使用するプライマリ ドメイン ネーム システム (DNS) サーバ。
  - [DNS 2] : 電話機が使用するオプションのバックアップ DNS サーバ。
  - [MAC アドレス (MAC address) ] : 電話機固有のメディア アクセス コントロール (MAC) アドレス。
  - [ホスト名 (Host name) ] : 電話機に割り当てられている現在のホスト名を表示します。
  - [ドメイン (Domain) ] : 電話機のネットワーク ドメイン名を表示します。 デフォルト : `cisco.com`
  - [スイッチ ポート リンク (Switch port link) ] : スイッチ ポートのステータス。

- [スイッチポート構成 (Switch port config)] : ネットワークポートの速度とデュプレックスを示します。
- [PCポート構成 (PC port config)] : PCポートの速度とデュプレックスを示します。
- [PCポートリンク (PC port link)] : PCポートのステータス。

---

## 電話機ステータスの表示


### 手順

- 
- ステップ1** [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。
- ステップ2** [ステータス (Status)] > [電話機ステータス (Phone Status)] を選択します。  
以下の情報を確認できます。
- [経過時間 (Elapsed time)] : 前回のシステムリブート後の合計経過時間
  - [Tx (パケット) (Tx (Packets))] : 電話機から送信されたパケット数。
  - [Rx (パケット) (Rx (Packets))] : 電話機で受信されたパケット数。

---


## 電話機のステータスメッセージの表示

### 手順

- 
- ステップ1** [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。
- ステップ2** [情報と設定 (Information and settings)] > [ステータス (Status)] > [ステータスメッセージ (Status messages)] を選択します。  
前回プロビジョニングが実行されてからの電話機のさまざまなステータスのログを表示できます。  
(注) ステータスメッセージはUTC時間を反映しており、電話機のタイムゾーン設定には影響されません。
- ステップ3** [戻る (Back)] を押します。
-


## 回線ステータスの表示

### 手順

- 
- ステップ 1** [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ 2** [ステータス (Status) ] > [電話機ステータス (Phone status) ] > [回線ステータス (Line status) ] を選択します。  
電話機の各回線のステータスを確認できます。
- 


## トランザクションステータスの表示

### 手順

- 
- ステップ 1** [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ 2** [ネットワークの設定 (Network configuration) ] > [イーサネットの設定 (Ethernet configuration) ] > [802.1X 認証 (802.1X authentication) ] > [トランザクションステータス (Transaction status) ] を選択します。  
以下の情報を確認できます。
- トランザクションステータス
  - プロトコル
- 

## リブート履歴の表示


### 手順

- 
- ステップ 1** [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ 2** [ステータス (Status) ] > [リブート履歴 (Reboot history) ] を選択します。  
電話機がリブートした理由には関係なく、電話機がリブートした日時の詳細を表示できます。
-

## 電話機のすべての問題を報告する

エラー レポート ツール（PRT）を使用すると、通話記録を収集および送信し、管理者に問題を報告することができます。

### 手順

- 
- ステップ1 [アプリケーション（Applications）] ボタン  を押します。
  - ステップ2 [ステータス（Status）] > [問題の報告（Report problem）] を選択します。
  - ステップ3 [問題の発生日付（Date of problem）] フィールドに、問題が発生した日付を入力します。デフォルトではこのフィールドに現在の日時が表示されます。
  - ステップ4 [問題の発生時刻（Time of problem）] フィールドに、問題が発生した時刻を入力します。デフォルトではこのフィールドに現在の時刻が表示されます。
  - ステップ5 [問題の説明（Problem description）] を選択します。
  - ステップ6 表示されるリストから説明を選択します。
  - ステップ7 [送信（Submit）] を押します。
- 

## 電話機の接続の切断

場合によっては、電話機とコール制御システムとの接続が失われることがあります。この接続が失われた場合、これを知らせるメッセージが電話機に表示されます。

アクティブ コール中に接続が失われた場合、そのコールは継続します。ただし、通常の電話機能の中にはコール制御システムからの情報を必要とするものがあるため、すべての機能にアクセスできるわけではありません。ソフトキーが予期したとおりに機能しないことがあります。

電話機がコール制御システムに再接続すると、電話機を再び通常どおりに使用できるようになります。

## シスコ製品（ハードウェア）に関する1年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com の <http://www.cisco.com/go/hwwarranty> で提供しています。







## 第 2 章

### 通話

---

- コールの発信, 25 ページ
- コールへの応答, 29 ページ
- コールのミュート, 31 ページ
- コールの保留, 31 ページ
- コールの転送, 34 ページ
- 通話の転送, 35 ページ
- 電話会議とミーティング, 36 ページ
- 電話機のグループのページング (マルチキャスト ページング), 36 ページ
- 複数の回線, 37 ページ

### コールの発信

Cisco IP Phone は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話を発信できます。

### 電話をかける

この電話機では、他の電話機と同じようにコールを発信できます。


#### 手順

電話番号を入力して、[発信 (Call)] を押します。

## スピーカーフォンによるコールの発信

スピーカーフォンは、ハンズフリー コールに使用します。ただし、同僚がこちらの声を聞いている可能性があることに注意してください。


### 手順

- 
- ステップ1 キーパッドを使用して番号を入力します。
  - ステップ2 [スピーカーフォン (speakerphone) ] ボタン  を押します。
- 

## ヘッドセットによるコールの発信

ヘッドセットをハンズフリー コールに使うと、同僚の邪魔にならず、プライバシーも得られます。

### 手順

- 
- ステップ1 ヘッドセットを差し込みます。
  - ステップ2 キーパッドを使用して番号を入力します。
  - ステップ3 [ヘッドセット (headset) ] ボタン  を押します。
- 

## 番号をリダイヤルする

最後にダイヤルした電話番号をもう一度発信することができます。

### 手順

- 
- ステップ1 (任意) 回線を選択します。
  - ステップ2 [リダイヤル (Redial) ] を押します。
  - ステップ3 [発信履歴 (Placed calls) ] リストから連絡先を選択し、[発信 (Call) ] を押します。
-

## 短縮ダイヤル

短縮ダイヤル機能を使用すると、ボタン押し、事前設定コードの入力、または電話スクリーンの項目の選択により、コールを発信できます。短縮ダイヤルは、電話スクリーンまたは電話機の Web ページから設定できます。

短縮ダイヤルコードを編集、削除、および検証できます。

### 関連トピック


[\[設定ユーティリティ \(Configuration Utility\) \] ページ, \(10 ページ\)](#)

[短縮ダイヤル番号, \(11 ページ\)](#)

## 電話スクリーンからの短縮ダイヤルコードの割り当て

電話スクリーンから短縮ダイヤルを設定できます。電話機の [設定ユーティリティ (Configuration Utility) ] ページから短縮ダイヤルコードを割り当てることもできます。

### 手順

- 
- ステップ 1 [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
  - ステップ 2 [短縮ダイヤル (Speed dial) ] を選択します。
  - ステップ 3 割り当てられていない短縮ダイヤルインデックスまでスクロールします。
  - ステップ 4 [編集 (Edit) ] ボタン を押し、次のいずれかを実行します。
    - 名前と番号を入力します。
    - アドレス帳から連絡先を選択するには、[オプション (Option) ] > [連絡先から選択 (Select from contact) ] の順に選択します。
  - ステップ 5 [保存 (Save) ] を選択します。
- 

## 短縮ダイヤルコードを使用したコールの発信

### はじめる前に

電話機の [設定ユーティリティ (Configuration Utility) ] ページ、または電話機の [アプリケーション (Applications) ] メニューで、短縮ダイヤルコードをセットアップします。

### 手順

短縮ダイヤルコードを入力し、[発信 (Call) ] を押します。

## 回線キーの短縮ダイヤルを設定する

電話機の任意のアイドルな回線キーを押して短縮ダイヤルをセットアップできます。電話スクリーン上の回線キーの隣に、短縮ダイヤルアイコン、名前、および内線番号が表示されます。また、[設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページの [拡張機能 (Extended Function)] フィールドでこの変更を確認することもできます。回線キーの短縮ダイヤルを設定した後で、回線キーを押して、短縮ダイヤル情報を変更して新しい電話番号と名前を割り当てることができます。

### はじめる前に

Web ページに移動し、短縮ダイヤル キーになる回線キーを無効にします。

### 手順

- 
- ステップ 1** 電話機の任意のアイドルな回線キーを少なくとも 2 秒間押します。
  - ステップ 2** [短縮ダイヤル (Speed-Dial)] ウィンドウで、この回線キーを押したときに呼び出す短縮ダイヤル名と電話番号を追加します。
  - ステップ 3** [保存 (Save)] をクリックします。
- 

## 回線キーから短縮ダイヤルを削除する

電話機の回線キーを押して、割り当てられた短縮ダイヤルを削除できます。回線キーの短縮ダイヤルが削除されます。短縮ダイヤルが削除されていることを確認するには、[設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページを確認します。

### 手順

- 
- ステップ 1** 短縮ダイヤルが設定されている回線キーを少なくとも 2 秒間押します。
  - ステップ 2** 電話スクリーンの [短縮ダイヤル (Speed-Dial)] ウィンドウで [オプション (Option)] > [削除 (Delete)] を押します。
- 

## 国際番号のダイヤル

電話番号の前にプラス記号 (+) を付けると、国際電話をダイヤルできます。

### 手順

- 
- ステップ 1** アスタリスク (\*) を 1 秒間以上押したままにします。

電話番号の先頭にプラス (+) 記号が表示されます。

- ステップ 2** 番号をダイヤルします。  
最後のキーを押してから 10 秒後に、電話機から番号が発信されます。
- 

## 安全なコール

社外の人物による不正な改ざんからコールを保護するために、管理者は措置を講じることができません。通話中にロックアイコンが電話機に表示される場合、コールは安全です。電話機の設定によっては、電話をかける前にサインインする必要が生じたり、ハンドセットからセキュリティトーンが聞こえたりすることがあります。

## コールへの応答

Cisco IP Phone は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話に応答できます。

## コールに応答する

### 手順

赤色に点滅している回線ボタンを押します。

## コール待機への応答

アクティブコール中にコール待機が発生すると、ブープ音が一度聞こえて、回線ボタンが赤色に点滅します。

### 手順

---

- ステップ 1** (任意) 複数のコール待機が存在する場合は、着信コールを 1 つ選択します。  
**ステップ 2** [回線ボタン (line button)] を押します。
-

## コールの拒否

アクティブコールまたは呼び出し中の着信コールを、ボイスメールシステムや設定済み電話番号に送信できます。

### 手順

着信コールを強調表示して、[拒否 (Decline)] を押します。

## 応答不可をオンにする

特定の作業に集中したいときに応答不可 (DND) 機能を使用すると、電話機をサイレント状態にして着信コール通知を無視できます。

DND をオンにすると、着信コールはボイスメールなどの別の番号 (設定されている場合) に転送されます。DND は電話機のすべての回線に影響します。ただし、DND がオンになっていてもインターコム コールと緊急通話は常に受信します。

DND がオンの場合、電話スクリーンのヘッダー セクションの色が変化し、[応答不可 (Do not disturb)] が表示されます。

ユーザ設定を使用して DND を制御することもできます。詳細については、[設定](#)、(55 ページ) を参照してください。

### 手順

---

**ステップ 1** サイレントをオンにするには、[サイレント (DND)] を押します。

**ステップ 2** DND をオフにするには、[DND をクリア (Clr DND)] を押します。

---

## スターコードを使用して DND をオンまたはオフにする

電話機で設定されているそれぞれのスターコードをダイヤルすることにより、応答不可機能をオンまたはオフにすることができます。管理者は、[設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページで [DND アクティブ化コード (DND Act Code)] フィールドおよび [DND 非アクティブ化コード (DND Deact Code)] フィールドにそれぞれスターコードを入力します。

### 手順

---

**ステップ 1** DND をオンにするには、管理者によって指定されたスターコードをダイヤルします。

**ステップ 2** DND をオフにするには、管理者によって指定されたスターコードをダイヤルします。

---

## 同僚の電話機に应答する（コールピックアップ）

同僚との間でコール処理タスクを共有している場合、同僚の電話機に着信しているコールに应答することができます。まず、管理者が少なくとも1つのコールピックアップグループにこのユーザを割り当てる必要があります。

### グループ内のコールに应答する（ピックアップ）

自分のコールピックアップグループ内の別の電話機で鳴っているコールに应答することができます。ピックアップ対象のコールが複数ある場合、呼び出し時間が最も長いコールに应答することになります。

#### 手順

- 
- ステップ1 (任意) [回線ボタン (line button)] を押します。
  - ステップ2 自分のピックアップグループ内の着信コールを自分の電話機に転送するには、[ピックアップ (PickUp)] を押します。
- 

## コールのミュート

コール中に音声をミュートすると、自分の声が相手に聞こえず、相手の声だけを聞くことができます。

#### 手順


- 
- ステップ1 [ミュート (Mute)]  を押します。
  - ステップ2 再度 [ミュート (Mute)] を押すと、ミュートはオフになります。
- 

## コールの保留

### コールを保留にする

アクティブコールを保留にしたり、準備が整ったときに保留中のコールを再開したりできます。

## 手順



- 
- ステップ 1** [保留 (Hold) ]  または [保留 (Hold) ] ソフトキーを押します。
- ステップ 2** 保留中のコールを復帰するには、[復帰 (Resume) ] ソフトキーまたは [保留 (Hold) ] ボタンを押します。
- 

## 長時間にわたって保留されているコールに応答する

保留状態が長くなると、次のようなキューによる通知が表示されます。

- 赤色に点滅する回線ボタン
- 受話器上で点滅するメッセージインジケータ
- 電話スクリーン上の [視覚的な通知 (Visual notification) ]
- [電話 (Phone) ] Web ページで保留リマインダが設定されている場合の電話機の呼び出し通知

## 手順

[保留 (Hold) ]  または [復帰 (Resume) ] を押して、保留中のコールを復帰します。 [保留 (Hold) ]  または [復帰 (Resume) ] を押して、保留中のコールを復帰します。

## アクティブコールと保留コールの切り替え

アクティブなコールと保留中のコールは、簡単に切り替えることができます。

## 手順

保留コールの回線ボタンを押すと保留コールが再開され、もう 1 つのコールが自動的に保留になります。

## コールパーク

電話機を使用して、コールをパークすることができます。その後、自身の電話機または別の電話機 (同僚のデスクや会議室にある電話機など) からそのコールを取得できます。

コールがパーク状態にある時間が長すぎる場合、アラート トーンが聞こえます。この電話機でコールに応答するか、別の電話機から取得することができます。所定の時間内にコールに応答し



ない場合、システム管理者が設定した別の接続先（ボイスメールなど）にコールがルーティングされます。

## コールパークを使用してコールを保留にする

電話機で応答したアクティブ コールをパークした後、コール制御システム内の他の電話機を使ってそのコールを取得することができます。

また、自分の電話機にコールをパークすることもできます。その場合、録音は再生されない可能性があります。

コールパーク番号にパークできるコールの数は1つだけです。

### はじめる前に

コールがアクティブでなければなりません。

### 手順

- 
- ステップ 1** [パーク (Park) ]を押します。  
電話機は、パークされたコールの番号を尋ねる録音済みメッセージを再生します。
  - ステップ 2** (任意) キー拡張モジュールでコールパークが設定されている場合は、コールパークの回線キーを押します。
  - ステップ 3** 番号を入力してシャープ (#) を押します。
  - ステップ 4** (任意) パークされた番号を、コールを取得する相手に伝達します。
- 

## コールパークを使用して保留中コールを取得する

ネットワークの任意の場所から、パークされたコールをピックアップできます。

### はじめる前に

コールのパークに使われた番号を知っておく必要があります。

### 手順


- 
- ステップ 1** [パーク解除 (Unpark) ]を押します。
  - ステップ 2** (任意) キー拡張モジュールでコールパークが設定されている場合は、コールパークの回線キーを押します。
  - ステップ 3** コールがパークされている番号とシャープ (#) を入力します。  
また、シャープ (#) を入力して、パークされているコールを取得することもできます。自分の電話機にパークされているコールを取得する場合は、番号を入力する必要はありません。
-

## コールの転送

電話機の回線にかかってきたコールを別の番号に転送することができます。コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。

コールを転送するには、次の2つの方法があります。

- すべてのコールを転送する
- 電話機がビジー状態の場合、または応答がない場合など、特殊な状況でコールを転送する

回線が転送されると、その回線に [不在転送 (Forward all) ]  アイコンが表示されます。

### 手順

- 
- ステップ1** 転送される回線が非アクティブである場合は、[転送 (Forward) ] を押します。
- ステップ2** 自分の電話機からダイヤルするのとまったく同じ方法で転送先番号を入力するか、最近の通話履歴からエントリを選択します。
- 

## 設定ユーティリティを使用して特定の状況でコールを転送する

設定ユーティリティを使用して、電話機が話中の場合などの特定の条件下ですべてのコールを転送するように電話機をセットアップできます。

また、ユーザ設定からコール転送をセットアップすることもできます。詳細については、[設定、\(55 ページ\)](#) を参照してください。

### 手順

- 
- ステップ1** [設定ユーティリティ (Configuration Utility) ] ページで、[ユーザ ログイン (User Login) ] > [ボイス (Voice) ] > [ユーザ (User) ] をクリックします。
- ステップ2** [コール転送 (Call Forward) ] セクションで、[コール転送設定 (Cfwd Settings) ] を [はい (Yes) ] に設定し、有効にする各コール転送サービスの電話番号を入力します。
- [すべてコール転送の宛先 (Cfwd All Dest) ] : すべてのコールを転送します。
  - [話中コール転送の宛先 (Cfwd Busy Dest) ] : 回線が話中の場合にのみコールを転送します。
  - [無応答時コール転送の宛先 (Cfwd No Ans Dest) ] : 回線の応答がない場合にのみコールを転送します。
  - [応答されない場合にコール転送 : 遅延 (Cfwd No Ans Delay) ] : 応答遅延時間を割り当てます。

管理者が電話機の機能キー同期（FKS）を無効にすると、コールの転送が必要になるまでの値を秒数として入力できます。

管理者が電話機の機能キー同期（FKS）を有効にすると、コールの転送が必要になるまでの値を呼出回数として入力できます。

**ステップ 3** [すべての変更内容を送信（Submit All Changes）] をクリックします。

---

## 通話の転送

アクティブ コールを別の人に転送することができます。


### 別のユーザにコールを転送する

コールを転送した場合、他の担当者が応答するまでは、元のコールに接続した状態を保つことができます。これにより、電話を切る前に別の相手と個別に話す機会が得られます。話す必要がない場合は、別の相手が応答するのを待たずにコールを転送します。

電話を切る前に両方の発信者を切り替えてそれぞれと会話することもできます。

#### 手順

---

- ステップ 1** 保留中ではないコールで、[転送（Transfer）]  を押します。
  - ステップ 2** 別の担当者の電話番号を入力します。
  - ステップ 3** （任意） 回線呼出音が鳴るか、他の相手がコールに応答するまで待機します。
  - ステップ 4** （任意） 回線キーを押して、保留中のコールに戻ります。
  - ステップ 5** 再度 [転送（Transfer）] を押します。
- 


### 転送を行う前の会話

コールを転送する前に、転送先の相手と会話することができます。

#### はじめる前に

アクティブ コールを転送しなければならない場合があります。

## 手順



- 
- ステップ1 [転送 (Transfer)]  を押します。
  - ステップ2 転送先の相手の電話番号を入力します。
  - ステップ3 別の相手が応答すると、会話することができます。
  - ステップ4 (任意) 回線キーを押して、保留中のコールに戻ります。
  - ステップ5 (任意) 回線キーを押して、転送先電話番号に戻ります。
  - ステップ6 [転送 (Transfer)] を押して転送を開始します。
- 

## 電話会議とミーティング

1つのコールで複数の相手と話し合うことができます。別のユーザにダイヤルして、そのユーザをコールに追加することができます。複数の電話回線がある場合は、2つの回線にまたがる2つのコールを結合できます。参加者全員が電話を切ると、会議は終了します。

### 他の人をコールに追加する

## 手順

- 
- ステップ1 アクティブ コールから、[会議 (Conference)]  を押します。
  - ステップ2 追加する通話相手の電話番号を入力し、[ダイヤル (Dial)] を押します。
  - ステップ3 [会議 (Conference)] ボタン  を押します。会議が開始されます。
- 

## 電話機のグループのページング (マルチキャストページング)

管理者は、電話機をページンググループの一部として設定できます。ページンググループでは、電話機は電話システム内の他のマルチプラットフォーム フォンからのページに自動的に応答できます。各ページンググループには固有の番号が関連付けられています。管理者は、設定済みのページンググループ番号をユーザに提供します。電話機がページングされている場合、3つの短いビープ音が聞こえます。電話機は、ユーザと発信元電話機の間片通話を確立します。ページを受け入れる必要はありません。

## 手順

ページング グループの番号をダイヤルします。

# 複数の回線

他のユーザと電話番号を共有する場合、複数の回線を電話機で使用できます。複数の回線を使用するときには、より多くのコール機能を利用できます。

## 最も古いコールから応答

電話機のすべての回線における最も古いコールに応答できます。これには、アラート状態の保留復帰およびパーク復帰コールも含まれます。着信コールは、保留またはパーク復帰コールよりも常に優先されます。

複数の回線を操作しているときには、通常、応答したい着信コールの回線ボタンを押します。回線とは無関係に最も古いコールに応答するには、[応答 (Answer)] を押します。

## 電話機ですべてのコールを表示する

(すべての電話回線からの) すべてのアクティブ コールのリストを、古いものから順番に表示できます。

すべてのコールのリストは、複数の回線がある場合、または他のユーザと回線を共有している場合に役立ちます。このリストにはすべてのコールが一緒に表示されます。

## 共有回線

同じ電話番号を1人または複数の同僚と共有できます。たとえば、管理者のアシスタントは、管理者のためにコールの発信者名確認を担当することがあります。

電話番号を共有すると、他の通常の電話回線と同じようにその回線を使用できますが、共有回線に特有の次のような動作に注意してください。

- 共有された電話番号は、その番号を共有しているすべての電話機に表示されます。
- 誰か同僚がコールに応答した場合、手元の電話機の共有回線ボタンとセッションボタンが赤色に点灯します。
- 自分がコールを保留にした場合、自分の回線ボタンが赤色に点灯し、セッションボタンが赤色に点滅します。同僚の回線ボタンも赤色に点灯し、セッション ボタンが赤色に点滅します。

## [共有回線 (Shared Line)] のコールに参加する

自分または同僚は、共有回線上のコールに参加できます。その場合は、管理者が電話機の機能を有効にする必要があります。

自分が回線を共有するユーザのプライバシー機能が有効になっている場合、そのユーザの回線設定を参照したり、そのユーザのコールに自分を追加したりすることはできません。

### 手順

- 
- ステップ 1** [共有回線 (Shared Line)] の [回線 (Line)] ボタンを押します。
- ステップ 2** [割り込み (Barge)] または [サイレント割り込み (BargeSilent)] を押します。
-



## 第 3 章

# 連絡先

---

- [社内ディレクトリ](#), 39 ページ
- [個人アドレス帳](#), 44 ページ

## 社内ディレクトリ


自分の電話機で同僚の番号を調べるにより、簡単に同僚に電話をかけることができます。管理者がこのディレクトリを設定し、保守します。

電話機では、Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) ディレクトリ、Broadsoft ディレクトリ、および Cisco XML ディレクトリの 3 種類の社内ディレクトリがサポートされています。

## 社内ディレクトリの連絡先のダイヤル

### 手順

---

- ステップ 1 [連絡先 (Contacts)] ボタン  を押します。
  - ステップ 2 [社内ディレクトリ (Corporate Directory)] を選択します。
  - ステップ 3 検索条件を選択します。
  - ステップ 4 検索条件を入力し、[送信 (Submit)] を押します。
  - ステップ 5 連絡先を選択します。
  - ステップ 6 [ダイヤル (Dial)] を押します。
-

## Broadsoft ディレクトリ

Broadsoft ディレクトリ内の個人、グループ、および企業の連絡先を検索および表示でき、これによりそれらの連絡先へのコールが簡単になります。管理者が電話機に Broadsoft ディレクトリを設定します。このアプリケーション機能は BroadSoft 社の Extended Services Interface (XSI) を使用します。

### Broadsoft ディレクトリ内の連絡先の検索（簡易検索）

#### はじめる前に

- 管理者は、電話機の Broadsoft ディレクトリを有効にします。
- ユーザまたは管理者は、Broadsoft ディレクトリのユーザグループタイプを [エンタープライズ (Enterprise) ]、[グループ (Group) ]、または [個人 (Personal) ] としてセットアップします。

#### 手順

---

- ステップ 1 [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。
  - ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ (Broadsoft Directory) ] を選択します。  
Broadsoft ディレクトリ用に設定したディレクトリ名が名前として表示される場合があります。
  - ステップ 3 [簡易検索 (Simple Search) ] を選択します。
  - ステップ 4 検索条件を入力し、[送信 (Submit) ] を押します。
- 

### BroadSoft ディレクトリ内の連絡先の検索（詳細検索）

#### はじめる前に

Broadsoft ディレクトリのユーザグループタイプを [エンタープライズ (Enterprise) ] または [グループ (Group) ] として設定します。

#### 手順

---

- ステップ 1 [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。
- ステップ 2 [BroadSoft ディレクトリ (BroadSoft Directory) ] を選択します。
- ステップ 3 [詳細検索 (Advance Search) ] を選択します。
- ステップ 4 検索条件を選択します。




BroadSoft ディレクトリ内の連絡先は、姓、名、ユーザID、番号、内線番号、部署名、および電子メールアドレスで検索できます。

- ステップ5 検索条件を入力し、[送信 (Submit)] を押します。
- 

## Broadsoft ディレクトリ内の連絡先タイプの編集

### 手順


---

- ステップ1 [連絡先 (Contacts)] ボタン  を押します。
- ステップ2 [Broadsoft ディレクトリ (Broadsoft Directory)] を選択します。
- ステップ3 [オプション (Option)] を押します。
- ステップ4 [設定の編集 (Edit Settings)] を選択します。
- ステップ5 [タイプ (Type)] フィールドを選択します。  
Broadsoft ディレクトリの連絡先タイプとして [エンタープライズ (Enterprise)]、[グループ (Group)]、または [個人 (Personal)] を選択します。
- ステップ6 [保存 (Save)] を押して変更を適用します。
- 

## BroadSoft ディレクトリ名の編集

### 手順


---

- ステップ1 [連絡先 (Contacts)] ボタン  を押します。
- ステップ2 [Broadsoft ディレクトリ (Broadsoft Directory)] を選択します。
- ステップ3 [オプション (Option)] を押します。
- ステップ4 [設定の編集 (Edit Settings)] を選択します。
- ステップ5 [ディレクトリ名 (Directory Name)] フィールドを編集します。
- ステップ6 [保存 (Save)] を押して変更を適用します。
-

## Broadsoft ディレクトリのサーバ名の編集

### 手順


---

- ステップ 1 [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。
  - ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ (Broadsoft Directory) ] を選択します。
  - ステップ 3 [オプション (Option) ] を押します。
  - ステップ 4 [設定の編集 (Edit Settings) ] を選択します。
  - ステップ 5 [ホストサーバ (Host Server) ] を選択します。
  - ステップ 6 [編集 (Edit) ] を押してサーバエントリを変更します。
  - ステップ 7 [ホストサーバ (Host Server) ] フィールドを編集します。
  - ステップ 8 [保存 (Save) ] を押して変更を適用します。
- 

## Broadsoft ディレクトリのユーザ ID の編集


### 手順

---

- ステップ 1 [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。
  - ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ (Broadsoft Directory) ] を選択します。
  - ステップ 3 [オプション (Option) ] を押します。
  - ステップ 4 [設定の編集 (Edit Settings) ] を選択します。
  - ステップ 5 [ユーザ ID (UserID) ] を選択します。
  - ステップ 6 [編集 (Edit) ] を押して、Broadsoft ディレクトリのユーザ ID を変更します。
  - ステップ 7 [適用 (Apply) ] を押して、変更内容を保存します。
  - ステップ 8 [ユーザ ID (User ID) ] フィールドを編集します。
  - ステップ 9 [保存 (Save) ] を押して変更を適用します。
-

## Broadsoft ディレクトリのパスワードの編集

### 手順


- 
- ステップ 1 [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。
  - ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ (Broadsoft Directory) ] を選択します。
  - ステップ 3 [オプション (Option) ] を押します。
  - ステップ 4 [設定の編集 (Edit Settings) ] を選択します。
  - ステップ 5 [パスワード (Password) ] を選択します。
  - ステップ 6 [編集 (Edit) ] を押してエントリを変更します。
  - ステップ 7 [適用 (Apply) ] を押して、変更内容を保存します。
  - ステップ 8 [パスワード (Password) ] フィールドを編集します。
  - ステップ 9 [保存 (Save) ] を押して変更を適用します。
- 

## LDAP ディレクトリ

Cisco IP Phone は Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) v3 をサポートします。指定した LDAP ディレクトリで名前、電話番号、またはその両方を検索できます。Microsoft Active Directory 2003 や OpenLDAP ベースのデータベースなど、LDAP ベースのディレクトリがサポートされます。

## LDAP ディレクトリ内の連絡先の検索


### 手順

- 
- ステップ 1 [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。
  - ステップ 2 [LDAP ディレクトリ (LDAP Directory) ] を選択します。
  - ステップ 3 検索条件を入力します。  
連絡先の名および姓で検索できます。
  - ステップ 4 [送信 (Submit) ] を押します。
-

# 個人アドレス帳

## 個人アドレス帳への新しい連絡先の追加

### 手順

- 
- ステップ 1 [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。
  - ステップ 2 [個人アドレス帳 (Personal Address Book) ] を選択します。
  - ステップ 3 [追加 (Add) ] を押します。または [選択 (Select) ] ボタンを押すこともできます。
  - ステップ 4 名前と、少なくとも 1 つの電話番号を入力します。
  - ステップ 5 連絡先のカスタム呼出音を選択します。
  - ステップ 6 [保存 (Save) ] を押して、パーソナルディレクトリにエントリーを追加します。
- 


## 設定ユーティリティを使用した個人用アドレス帳への新規連絡先の追加

### 手順

- 
- ステップ 1 [設定ユーティリティ (Config Utility) ] ページで、[ユーザ ログイン (User Login) ] > [パーソナルディレクトリ (Personal Directory) ] を選択します。
  - ステップ 2 [パーソナルディレクトリに追加 (Add to Personal Directory) ] をクリックします。
  - ステップ 3 名前、職場の番号、携帯電話の番号、および自宅の番号を追加します。
  - ステップ 4 [すべての変更内容を送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。
-

## 個人アドレス帳内の連絡先の検索

### 手順

- ステップ1 [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。
- ステップ2 [個人アドレス帳 (Personal Address Book) ] を選択します。
- ステップ3 [オプション (Option) ] > [検索 (Search) ] を選択します。
- ステップ4 検索対象のアドレス エントリを入力し、[送信 (Submit) ] を押します。  
名前でのみ検索できます (大文字/小文字の区別なし) 。番号での検索はサポートされません。


## 個人アドレス帳内の連絡先の発信

### 手順

- ステップ1 [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。
- ステップ2 [個人アドレス帳 (Personal Address Book) ] を選択し、エントリを検索します。
- ステップ3 ダイヤルする個人アドレス帳のエントリを選択します。
- ステップ4 [コール (Call) ] を押します。

## 個人アドレス帳内の連絡先の編集


### 手順

- ステップ1 [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。
- ステップ2 [個人アドレス帳 (Personal Address Book) ] を選択し、エントリを検索します。
- ステップ3 変更するエントリを選択します。
- ステップ4 [編集 (Edit) ] を押します。
- ステップ5 エントリの情報を変更します。
- ステップ6 [保存 (Save) ] を押して、電話番号を変更します。

## 個人アドレス帳からの連絡先の削除

### 手順

---

- ステップ 1** [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。
- ステップ 2** [個人アドレス帳 (Personal Address Book) ] を選択します。
- ステップ 3** [アドレス エントリの検索 (Search address entry) ] を選択します。
- ステップ 4** アドレス エントリを選択し、[オプション (Option) ] > [削除 (Delete) ] を押してエントリを削除します。
-



## 第 4 章

# 通話履歴

---

- [通話履歴リスト, 47 ページ](#)
- [最近の通話履歴を表示する, 47 ページ](#)
- [最近の通話履歴に戻る, 48 ページ](#)
- [最近の通話履歴を消去する, 49 ページ](#)
- [履歴レコードから連絡先を作成する, 49 ページ](#)
- [コールレコードの削除, 49 ページ](#)
- [すべての通話レコードを削除する, 50 ページ](#)

## 通話履歴リスト

履歴リストを使用すると、最近の 180 件の個別コールおよびコールグループを確認できます。

履歴リストが最大サイズに達すると、次の新しいエントリはリスト内の最も古いエントリを上書きします。

## 最近の通話履歴を表示する

最近誰からコールがあったかを確認できます。



(注) 不在着信のバッジ付けは回線単位です。電話スクリーンに回線ごとの不在着信数を表示できません。最大不在着信バッジは99です。特定の回線について[すべてのコール (All calls)] リストまたは[不在着信 (Missed calls)] リストのいずれかを電話スクリーンに表示すると、選択した回線の不在着信バッジはクリアされます。

不在着信バッジと実際の不在着信数が異なっている場合があります。これは、[通話履歴 (Recents)] に180コールという制限があるためです。この制限は、発信コール、不在着信、および着信コールで構成されます。また、古い不在着信が不在着信バッジのカウントに追加されている場合があります。これは、[通話履歴 (Recents)] リストでは上書きされる可能性があります。

### 手順

- ステップ1 表示する回線を選択します。
- ステップ2 [通話履歴 (Recent)] を選択します。
- ステップ3 すべての通話履歴の表示、または特定の種類の通話履歴の表示を選択します。
  - すべてのコール
  - 不在履歴
  - 受信コール
  - 発信コール
- ステップ4 [選択 (Select)] を押します。

## 最近の通話履歴に戻る

一度コールがあった発信元には簡単にコールすることができます。

### 手順

- ステップ1 [通話履歴 (Recent)] を選択します。
- ステップ2 (任意) 目的の回線を選択します。
- ステップ3 ダイヤルするコールレコードを選択します。
- ステップ4 (任意) コールレコードを編集するには[コールの編集 (Edit call)] を押します。
- ステップ5 [コール (Call)] を押します。



## 最近の通話履歴を消去する

電話機の [通話履歴 (Recents) ] リストをクリアすることができます。リストをクリアする場合、選択した回線のリストのみがクリアされます。

### 手順

- 
- ステップ 1 回線を選択します。
  - ステップ 2 [通話履歴 (Recent) ] を選択します。
  - ステップ 3 (任意) 目的の回線を選択します。
  - ステップ 4 すべての通話履歴の表示、または特定の種類の通話履歴の表示を選択します。
    - すべてのコール
    - 不在履歴
    - 着信履歴
    - 発信履歴
  - ステップ 5 [選択 (Select) ] を押します。
  - ステップ 6 [リストの削除 (Delete list) ] を押します。
  - ステップ 7 [削除 (Delete) ] を押します。
- 

## 履歴レコードから連絡先を作成する

### 手順

- 
- ステップ 1 履歴レコードを表示します。
  - ステップ 2 [オプション (Options) ] を押します。
  - ステップ 3 [アドレス帳 (Add to address book) ] を押します。
- 

## コールレコードの削除

[通話履歴 (Recents) ] を編集して、1つのコールを履歴から削除できます。

## 手順

---


- ステップ 1** [通話履歴 (Recent) ] を選択します。
- ステップ 2** (任意) 目的の回線を選択します。
- ステップ 3** すべての通話履歴の表示、または特定の種類の通話履歴の表示を選択します。
- すべてのコール
  - 不在履歴
  - 着信履歴
  - 発信履歴
- ステップ 4** [選択 (Select) ] を押します。
- ステップ 5** 削除する個々のレコードまたはコール グループを強調表示します。
- ステップ 6** [エントリの削除 (Delete entry) ] を押します。
- ステップ 7** 確認のため、再び [削除 (Delete) ] を押します。
- ステップ 8** [戻る (Back) ] を押します。
- 

# すべての通話レコードを削除する

電話機のすべての通話履歴レコードを削除できます。

## 手順

---

- ステップ 1** [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ 2** [通話履歴 (Recent) ] を選択します。
- ステップ 3** [オプション (Option) ] > [すべて削除 (delete All) ] を選択します。
- ステップ 4** 確認のため、再び [削除 (Delete) ] を押します。
-



## 第 5 章

# ボイスメール

---

- [ボイスメールアカウント, 51 ページ](#)
- [新しいボイス メッセージの確認, 52 ページ](#)
- [ボイスメールへのアクセス, 52 ページ](#)
- [音声ボイスメールへのアクセス, 52 ページ](#)

## ボイスメール アカウント

電話機からボイス メッセージに直接アクセスすることができます。ただし管理者は、ボイスメールアカウントをセットアップし、場合によりボイスメールシステムにアクセスするように電話機もセットアップする必要があります。


電話機の [メッセージ (Messages) ] ボタンは、ボイスメール システムへの短縮ダイヤルとして機能します。

各ボイスメールシステムは異なっているため、ご使用のボイスメールシステムの使用方法については説明できません。ボイスメールのコマンドやボイスメールへのリモート アクセス方法については、ボイスメールシステムのユーザマニュアルを参照するか、または管理者に問い合わせてください。

## 電話機のボイスメールのセットアップ

管理者が電話機にボイスメールの電話番号をセットアップしていない場合、自分でセットアップできます。

## 手順

- 
- ステップ 1 [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ 2 [ユーザ設定 (User preferences) ] > [コールの設定 (Call preferences) ] を選択します。
- ステップ 3 [ボイスメール (Voice mail) ] にボイスメールの電話番号を入力します。
- ステップ 4 [設定 (Set) ] を押します。
- 

## 新しいボイス メッセージの確認

新しいボイスメールメッセージが届いているかどうか確認するには、次のいずれかの表示を調べます。

- ハンドセットのライトストリップが赤色に点灯している。
- 不在着信とボイスメールメッセージの数が画面に表示されている。新しいメッセージの数が 99 を超えると、プラス (+) 記号が表示されます。
- 感嘆符 (!) は緊急ボイスメールメッセージを示します。

また、電話回線を使用する際にハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンから断続トーンが聞こえることがあります。この断続トーンは回線によって異なります。断続トーンは、ボイスメッセージがある回線を使用しているときにのみ聞こえます。

### 関連トピック

[\[設定ユーティリティ \(Configuration Utility\) \] ページ, \(10 ページ\)](#)

## ボイスメールへのアクセス

### 手順

音声プロンプトに従います。

## 音声ボイスメールへのアクセス

管理者による電話機のセットアップ方法によっては、メッセージ一覧を確認しなくてもボイスメールを取得できる場合があります。ボイスメールメッセージの一覧を使用し、かつビジュアルガイドなしでメッセージにアクセスすることもある場合には、このオプションが便利です。

## 手順

- 
- ステップ 1**    スクリーン上で [音声 (Audio) ] ソフトキーを押します。
- ステップ 2**    要求されたら、ボイスメール資格情報を入力します。
-





## 第 6 章


# 設定

---

- 呼出音の変更, 56 ページ
- 設定ユーティリティを使用して内線番号に呼出音を割り当てる, 56 ページ
- 電話機から特定の状況でコールを転送する, 56 ページ
- 特定の回線で応答不可をオンにする, 57 ページ
- 設定ユーティリティからすべての回線の DND をオンにする, 58 ページ
- 非通知着信を拒否する, 58 ページ
- 発信者 ID の表示のブロック, 59 ページ
- コールの保護, 59 ページ
- 自動応答ページのセットアップ, 60 ページ
- ボイスメールのセットアップ, 60 ページ
- 表示モードの変更, 61 ページ
- 時間形式の変更, 61 ページ
- 日付形式の変更, 61 ページ
- スクリーンセーバーの変更, 62 ページ
- 設定ユーティリティを使用してスクリーンセーバーを設定する, 63 ページ
- コントラストの調整, 64 ページ
- 電話スクリーンのバックライトの調整, 65 ページ
- 設定ユーティリティからバックライトタイマーを調整する, 65 ページ
- 言語の設定, 66 ページ
- パスワードの設定, 66 ページ

## 呼出音の変更

### 手順

- 
- ステップ1 [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
  - ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences) ] > [オーディオ設定 (Audio preferences) ] > [内線 (n) - 呼出音 (Ext (n) - Ring tone) ] を選択します (n = 内線番号)。
  - ステップ3 呼出音のリストをスクロールし、[再生 (Play) ] を押してサンプルを聞きます。
  - ステップ4 [選択 (Select) ] ソフトキーを押してから [設定 (Set) ] ソフトキーを押し、選択内容を保存します。
  - ステップ5 [戻る (Back) ] を押して終了します。
- 

## 設定ユーティリティを使用して内線番号に呼出音を割り当てる

### 手順

- 
- ステップ1 [設定ユーティリティ (Configuration Utility) ] ページで、[ユーザログイン (User Login) ] > [ボイス (Voice) ] > [内線 (n) (Ext(n)) ] の順に選択します。(n) は内線番号です。
  - ステップ2 [コール機能設定 (Call Feature Settings) ] で、[デフォルトの呼出音 (n) (Default Ring (n)) ] ドロップダウンリストボックスを使用して次のいずれかを指定します。
    - 呼出音なし (No Ring)
    - 1 ~ 9 : 使用可能ないずれかの呼出音を選択します。
  - ステップ3 [すべての変更内容を送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。
- 

## 電話機から特定の状況でコールを転送する


電話機が話中の場合などの特定の条件下でコールを転送するように電話機をセットアップできます。



### はじめる前に

特定の状況でコールを転送するには、電話機でコール転送を有効にする必要があります。


### 手順

- 
- ステップ 1** [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ 2** [ユーザ設定 (User preferences) ] > [コールの設定 (Call Preferences) ] を選択します。
- ステップ 3** [オン (On) ] を選択してコール転送を有効にします。
- ステップ 4** 有効にする各コール転送サービスの電話番号を入力します。
- [すべての番号を転送 (Forward all number) ] : すべての着信コールを特定の電話番号に転送します。
  - [話中転送の番号 (Forward busy number) ] : プライマリ回線がアクティブ状態の場合、すべての着信コールを特定の電話番号に転送します。
  - [無応答時転送の番号 (Fwd no answer number) ] : 応答されない着信コールを転送します。
  - [無応答時転送の遅延 (Fwd no answer delay) ] : 応答遅延時間を割り当てます。  
管理者が電話機の機能キー同期 (FKS) を無効にすると、コールの転送が必要になるまでの値を秒数として入力できます。  
管理者が電話機の機能キー同期 (FKS) を有効にすると、コールの転送が必要になるまでの値を呼出回数として入力できます。
- ステップ 5** [設定 (Set) ] を押します。
- 

## 特定の回線で応答不可をオンにする

特定の作業に集中したいときに応答不可 (DND) 機能を設定すると、電話機をサイレント状態にして着信コール通知を抑止できます。すべての着信コール通知を抑止することも、特定の通話者の通知を抑止することもできます。

### 手順

- ステップ1 [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences) ] > [コールの設定 (Call preferences) ] > [応答不可 (Do not disturb) ] を選択します。
- ステップ3 リストから特定の回線を選択します。
- ステップ4 DND をオンにする場合は [オン (On) ] を押し、DND をオフにする場合は [オフ (Off) ] を押します。

### 関連トピック

[応答不可をオンにする](#)

## 設定ユーティリティからすべての回線のDNDをオンにする


### 手順

- ステップ1 [設定ユーティリティ (Configuration Utility) ] ページで、[ユーザ ログイン (User Login) ] > [ボイス (Voice) ] > [ユーザ (User) ] の順に選択します。
- ステップ2 [補足サービス (Supplementary Services) ] で、[DND 設定 (DND Settings) ] を [はい (Yes) ] に設定します。  
機能キー同期 (FKS) が管理者によって有効にされていない場合は、すべての回線でDNDをオンにすることができます。
- ステップ3 [すべての変更内容を送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

## 非通知着信を拒否する

発信者情報がない着信コールをブロックすることができます。


### 手順

- 
- ステップ 1 [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
  - ステップ 2 [ユーザ設定 (User Preferences) ] > [コールの設定 (Call Preference) ] > [非通知着信拒否 (Block anonymous call) ] を選択します。
  - ステップ 3 発信者情報がない着信を拒否する場合は [オン (On) ] を選択し、着信を許可する場合は [オフ (Off) ] を選択します。
  - ステップ 4 [設定 (Set) ] を選択して、設定を保存します。
- 

## 発信者 ID の表示のブロック

自分の発信者名と番号を発信先の相手からは非表示にすることができます。

### 手順


- 
- ステップ 1 [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
  - ステップ 2 [ユーザ設定 (User Preferences) ] > [コールの設定 (Call preference) ] > [発信者 ID のブロック (Block caller ID) ] を選択します。
  - ステップ 3 発信者 ID の表示をブロックする場合は [はい (Yes) ] を、発信者 ID の表示を許可する場合は [いいえ (No) ] を押します。
  - ステップ 4 [設定 (Set) ] を選択して変更内容を適用します。
- 

## コールの保護

コールを暗号化して盗聴者から保護することができます。セキュアコール機能は、すべての発信コールに対して、または特定のコールに対してセットアップできます。


セキュアコールが有効になっていると、ダイヤルされた電話番号の横にロックアイコンが表示されます。

## 手順

- 
- ステップ1 [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ2 [ユーザ設定 (User Preferences) ] > [コールの設定 (Call preference) ] > [セキュア コール (Secure call) ] を選択します。
- ステップ3 セキュア コール機能を有効にする場合は [オン (On) ] を押し、セキュア コール機能を無効にする場合は [オフ (Off) ] を押します。
- ステップ4 [設定 (Set) ] を選択して変更内容を適用します。
- 



## 自動応答ページのセットアップ

## 手順

- 
- ステップ1 [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences) ] > [コールの設定 (Call preference) ] > [自動応答ページ (Auto answer page) ] を選択します。
- ステップ3 自動応答ページを有効にする場合は [オン (On) ] を、自動応答ページを無効にする場合は [オフ (Off) ] を押します。
- ステップ4 [設定 (Set) ] を押して、変更内容を保存します。
- 

## ボイスメールのセットアップ


## 手順

- 
- ステップ1 [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences) ] > [コールの設定 (Call preferences) ] > [ボイスメール (Voice Mail) ] を選択します。
- ステップ3 電話番号を入力してボイスメールを確認します。  
[メッセージ (Messages) ]  ボタンを押すと、ボイスメール番号にダイヤルし、ボイスメッセージリストが表示されます。
- ステップ4 [設定 (Set) ] を押して、割り当てられた番号を確定します。
-

## 表示モードの変更

この機能は、Cisco IP Phone 7821、7841、7861 でサポートされています。


### 手順

- 
- ステップ1** [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ2** [ユーザ設定 (User preferences) ] > [アテンダント コンソール設定 (Attendant console preferences) ] > [表示モード (Display mode) ] を選択します。  
次のオプションを使用できます。
- 名前
  - Ext
  - 両方
- ステップ3** 表示モードを選択し、[設定 (Set) ] を押します。
- 

## 時間形式の変更

電話スクリーンに表示される現在の時間形式を変更できます。

### 手順


- 
- ステップ1** [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ2** [デバイス管理 (Device administration) ] > [日時 (Date/Time) ] > [時間フォーマット (Time format) ] を選択します。
- ステップ3** 時間形式を選択し、[設定 (Set) ] を押して変更内容を適用します。
- 

## 日付形式の変更

電話スクリーンに表示する日付形式を変更できます。

## 手順

---


- ステップ 1** [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ 2** [デバイス管理 (Device administration) ] > [日時 (Date/Time) ] > [日付形式 (Date format) ] を選択します。
- ステップ 3** 日付形式を選択し、[設定 (Set) ] を押して変更内容を適用します。
- 

# スクリーンセーバーの変更

電話機のスクリーンセーバーを有効にし、アピアランス、およびスクリーンセーバーが表示されるまでの電話機のアイドル時間を指定します。

## 手順

---

- ステップ 1** [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ 2** [ユーザ設定 (User preferences) ] > [スクリーン設定 (Screen preferences) ] > [スクリーンセーバー (Screen saver) ] を選択します。
- ステップ 3** スクリーンセーバーを有効にする場合は [オン (On) ] を、スクリーンセーバーをオフにする場合は [オフ (Off) ] を選択します。
- ステップ 4** 設定を選択するには、[スクリーンセーバー設定 (Screen saver settings) ] を選択します。
- [スクリーンセーバーのタイプ (Screen saver type) ] : 次のいずれかのオプションを選択します。
    - [クロック (Clock) ] : 円形の時計が描かれた壁紙を背景に表示します。
    - [クロック (Clock) ] : 単色背景にデジタル時計を表示します。
    - [ピクチャのダウンロード (Download Picture) ] : 電話機の Web ページから取得されたピクチャを表示します。
    - [ロック (Lock) ] : 電話スクリーンにロックアイコンを表示します。
  - [トリガー間隔 (Trigger interval) ] : スクリーンセーバーがオンになるまでの、電話機がアイドルである秒数を入力します。
  - [更新間隔 (Refresh interval) ] : スクリーンセーバーが更新されるまでの秒数を入力します (たとえば、ピクチャのローテーションを選択した場合) 。
- ステップ 5** [設定 (Set) ] を押します。
-

# 設定ユーティリティを使用してスクリーンセーバーを設定する

電話機のスクリーンセーバーを設定できます。電話機は、アイドル状態が一定時間続くとスクリーンセーバーモードに切り替わります。

いずれかのボタンを押すと、電話機は通常モードに戻ります。ユーザパスワードが設定されている場合は、スクリーンセーバーモードを終了する際にパスワードの入力が要求されます。

## 手順

**ステップ 1** [画面 (Screen) ]セクションで、[スクリーンセーバー有効 (Screen Server Enable) ]フィールドで[はい (Yes) ]を選択します。

**ステップ 2** 次の表の説明に従って、フィールドを設定します。

パラメータ	説明
スクリーンセーバー有効 (Screen Saver Enable)	電話機のスクリーンセーバーを有効にします。電話機は、アイドル状態が一定時間続くとスクリーンセーバーモードに切り替わります。 デフォルト: [いいえ (No) ]
スクリーンセーバーのタイプ (Screen Saver Type)	スクリーンセーバーのタイプ。選択できるオプション: <ul style="list-style-type: none"> <li>• [クロック (Clock) ]: 単色背景にデジタル時計を表示します。</li> <li>• [ピクチャのダウンロード (Download Picture) ]: 電話機の Web ページから取得されたピクチャを示します。</li> </ul>
スクリーンセーバーの待機時間 (Screen Saver Wait)	スクリーンセーバーが表示されるまでのアイドル時間。 スクリーンセーバーが開始するまでに経過するアイドル時間を秒数で入力します。 デフォルト: 300
スクリーンセーバーの更新期間 (Screen Saver Refresh Period)	スクリーンセーバーが更新されるまでの秒数 (たとえば、ピクチャのローテーションを選択した場合)。
バックライトタイマー (Back Light Timer)	バックライトタイマーがオンになる秒数。

パラメータ	説明
LCD コントラスト (LCD Contrast)	希望するコントラストの値。
ロゴタイプ (Logo Type)	電話スクリーンに表示されるロゴのタイプ。選択できるオプション： <ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルト</li> <li>ピクチャのダウンロード (Download Picutre)</li> <li>テキスト ロゴ (Text Logo)</li> </ul>
テキスト ロゴ (Text Logo)	<p>電話機の起動時に表示されるテキスト ロゴ。たとえば、サービス プロバイダーは次のようにロゴ テキストを入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最大 2 行のテキスト</li> <li>各行は 32 文字未満</li> <li>行間に改行文字 (\n) を挿入</li> <li>エスケープ コード %0a を挿入</li> </ul> <p>たとえば、 Super\n%0aTelecom</p> <p>表示： Super Telecom</p> <p>形式設定のためにスペースを追加するには、+ 文字を使用します。たとえば、テキストの前後に複数の + 文字を追加してセンタリングできます。</p>


**ステップ 3** [すべての変更内容を送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

## コントラストの調整

電話スクリーンのコントラストを変更して、スクリーンを見やすくすることができます。




### 手順

- 
- ステップ1 [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
  - ステップ2 [画面設定 (Screen preferences) ] > [コントラスト (Contrast) ] を選択します。
  - ステップ3 1 ~ 10 の範囲の間の数値を入力します。
  - ステップ4 コントラストを設定するには、[保存 (Save) ] を押します。
- 

## 電話スクリーンのバックライトの調整

バックライトを調整して、電話スクリーンを読みやすくすることができます。

### 手順

- 
- ステップ1 [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
  - ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences) ] > [バックライト タイマー (Backlight timer) ] を選択します。
  - ステップ3 バックライト モードを変更するには、[編集 (Edit) ] を押します。
  - ステップ4 [オン (On) ] を押してバックライトをオンにするか、[オフ (Off) ] を押してバックライトをオフにします。  
バックライトをオンにしておく期間を設定するための時間をリストから選択することもできます。
  - ステップ5 (オプション) バックライトをオフにしておく期間を設定するための時間をリストから選択します。  
このオプションを選択して、バックライトを常時オンにすることもできます。
  - ステップ6 [選択 (Select) ] を押して、選択したバックライト モードを適用します。
- 


## 設定ユーティリティからバックライトタイマーを調整する

### 手順

## 言語の設定

電話機の設定に応じて、電話機で使用される言語を変更することができます。

### 手順

- 
- ステップ 1 [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
  - ステップ 2 [デバイス管理 (Device administration) ] > [言語 (Language) ] を選択します。
  - ステップ 3 使用可能な言語のリストから言語を選択します。
  - ステップ 4 [保存 (Save) ] を選択します。
- 


## パスワードの設定

ネットワーク セキュリティを維持するために、電話パスワードを定期的リセットしてください。盗難を避けるために、すべてのパスワードを安全な場所で管理してください。

### はじめる前に

既存のパスワードが必要です。

### 手順

- 
- ステップ 1 [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
  - ステップ 2 [デバイス管理 (Device administration) ] > [パスワードの設定 (Set password) ] を選択します。
  - ステップ 3 [旧パスワード (Old password) ] フィールドに現在使用しているパスワードを入力します。
  - ステップ 4 [新しいパスワード (New password) ] フィールドと [新しいパスワードの再入力 (Reenter new password) ] フィールドに新しいパスワードを入力します。
  - ステップ 5 [保存 (Save) ] を選択します。
-



## 第 7 章

# アクセサリ

- サポートされるアクセサリ, 67 ページ
- ヘッドセット, 68 ページ

## サポートされるアクセサリ

Cisco IP Phone 7800 シリーズは、シスコ製とサードパーティ製の両方のアクセサリをサポートします。

次の表で、Xは特定の電話機モデルでアクセサリがサポートされることを示し、ダッシュ (-) はサポートされないことを示します。

表 3: Cisco IP Phone 7800 シリーズのアクセサリ サポート

アクセサリ	タイプ	Cisco IP Phone 7811	Cisco IP Phone 7821	Cisco IP Phone 7841	Cisco IP Phone 7861
サードパーティ製アクセサリ					
ヘッドセット	アナログ	-	X	X	X
	アナログ ワイドバンド	-	X	X	X
マイクロフォン	外部	-	-	-	-
スピーカー	外部	-	-	-	-
壁面取り付け	外部	X	X	X	X

# ヘッドセット

ご使用のシスコ電話機でこれを使用できるかどうかを確認するには、ヘッドセットの製造者に問い合わせてください。

アクティブ コール中にヘッドセットを電話機に差し込むと、オーディオパスが自動的にヘッドセットに切り替わります。

## 標準ヘッドセット

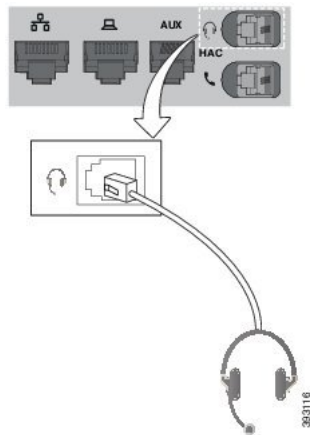
デスクの電話機では標準のヘッドセットを使用できます。

### 標準ヘッドセットの接続

標準ヘッドセットは電話機の背面に差し込みます。

#### 手順



電話機背面のジャックにヘッドセットを差し込み、ケーブルチャンネルの中にケーブルを押し込みます。



### ワイドバンド標準ヘッドセットのセットアップ

広帯域オーディオに対応するヘッドセットを使用できます。広帯域オーディオでは、ヘッドセットから聞こえる音声の質が改善されます。

## 手順

- ステップ1 [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
- ステップ2 [ステータス (Status) ] > [アクセサリ (Accessories) ] > [アナログヘッドセット (Analog headset) ] > [セットアップ (Setup) ] を選択します。
- ステップ3 [オン (On) ] または [オフ (Off) ] を押してアナログヘッドセット用ワイドバンドを有効または無効にします。
- ステップ4 [戻る (Return) ]  を押します。

## USB ヘッドセット

電話機に USB ポートがある場合は、USB ヘッドセットをコールに使用できます。

電話機に複数の USB ポートがある場合、同時に接続できる USB ヘッドセットは1つのみです。

サポートされるヘッドセットの一覧については、『[Unified Communications Endpoint and Client Accessories](#)』を参照してください。一覧に含まれない USB ヘッドセットを USB ポートに接続しても正常に機能しない場合があります。詳細については、USB ヘッドセットの製造元が提供するマニュアルを参照してください。

### USB ヘッドセットの接続

電話機で USB ヘッドセットを使用するときには、次の点に注意してください。

- 同時に使用できるヘッドセットは1台のみです。最後に接続されたヘッドセットがアクティブヘッドセットとなります。
- アクティブ コール中に USB ヘッドセットを取り外すと、オーディオは自動的にスピーカーに変更されます。
- アクティブ コール中に USB ヘッドセットを差し込むと、オーディオは USB ヘッドセットに変更されます。

## 手順

USB ヘッドセットのプラグを電話機の USB ポートに差し込みます。

## ワイヤレス ヘッドセット


電話機でほとんどのワイヤレスヘッドセットを使用できます。サポートされているヘッドセットのリストについては、[http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc\\_endpoints\\_accessories.html](http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.html) を参照してください。

ヘッドセットの接続およびこの機能の使用については、ワイヤレスヘッドセットのマニュアルを参照してください。

## 電子フックスイッチ ヘッドセットの有効化

電子フックスイッチヘッドセットは、ベースステーションとワイヤレスヘッドセットを使用します。ベースステーションのプラグを電子ヘッドセットのジャックに差し込みます。ヘッドセットは、取り付けただ後で有効にする必要があります。

### 手順

- 
- ステップ1 [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。
  - ステップ2 ナビゲーションパッドと選択ボタンを使用し、画面をスクロールして[設定 (Settings) ]を選択します。
  - ステップ3 [電子フックスイッチが接続されました (E-Hookswitch connected) ] を選択します。
  - ステップ4 [はい (Yes) ] を選択します。
- 

## 通話中のヘッドセットの切り替え

アナログヘッドセット、Bluetoothヘッドセット、およびUSBヘッドセットを同時に電話機に接続できます。ただし、同時に使用できるヘッドセットは1台のみです。

複数のヘッドセットを電話機に接続すると、電話機の[ヘッドセット (Headset) ]キーを押すことにより、通話中にヘッドセットを切り替えることができます。電話機は複数のデバイスに接続されていますが、特定のヘッドセットが次の優先順位で優先オーディオデバイスとして選択されています。

- USBヘッドセット、Bluetooth、およびアナログヘッドセットを電話機に接続すると、USBヘッドセットが優先オーディオデバイスになります。
- Bluetoothとアナログヘッドセットを電話機に接続すると、Bluetoothデバイスが優先オーディオデバイスになります。
- アナログヘッドセットのみを電話機に接続すると、アナログヘッドセットが優先オーディオデバイスになります。

### 手順

- 
- ステップ1 コールの発信または応答を行う前に、[ヘッドセット (Headset) ]を押します。
  - ステップ2 (任意) 発信する場合は、番号をダイヤルします。
-









## 第 8 章

# 製品安全性とセキュリティ

- [安全性とパフォーマンスに関する情報, 73 ページ](#)
- [FCC 準拠宣言, 74 ページ](#)
- [シスコ製品のセキュリティの概要, 75 ページ](#)
- [重要なオンライン情報, 75 ページ](#)

## 安全性とパフォーマンスに関する情報

### 停電

電話機を経由して緊急サービスにアクセスするには、その電話機が電力を受信する必要があります。停電が発生した場合、電源が復旧するまでは、電話サービスおよび緊急コールサービスダイヤルが機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、電話サービスおよび緊急コールサービスダイヤルを利用する必要があります。

### 外部デバイス

不要な無線周波数（RF）信号および可聴周波数（AF）信号を遮断する高品質の外部デバイスを使用することをお勧めします。外部デバイスには、ヘッドセット、ケーブル、コネクタが含まれません。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次の方法で対処することをお勧めします。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。

- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、およびコネクタのパフォーマンスを保証できません。




注意

欧州連合諸国では、EMC Directive (89/336/EC) に完全に準拠した外部スピーカー、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

## 電話機に電源を供給する方法

次の2つの方法のいずれかを使用して、電話機に電力を供給できます。

- 電源ケーブルを使用して、電話機に電力を供給します。
- ネットワークが Power over Ethernet (PoE) をサポートしている場合、電話機をネットワークに接続することによって電力を供給できます。イーサネットケーブルの一端をイーサネット電話ポート  に、他端をネットワークに接続します。

ネットワークが PoE をサポートしているかどうか不明な場合は、管理者に確認してください。

## ネットワーク輻輳時の電話機の挙動

ネットワークパフォーマンスの低下の原因となるものは、Cisco IP Phone の音声とビデオの品質にも影響を及ぼすため、場合によっては、コールがドロップする可能性があります。ネットワークパフォーマンスの低下は、次のような原因が考えられます。

- 内部ポート スキャンやセキュリティ スキャンなどの管理タスク
- サービス拒否攻撃など、ネットワーク上で発生した攻撃

## FCC 準拠宣言

連邦通信委員会 (FCC) は、次の項目に関する準拠宣言を義務付けています。

### FCC Part 15.21 に関する宣言

装置に対し、準拠に責任を負う関係者によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、ユーザがこの装置を使用する権利は無効になります。

## FCC RF 被曝に関する宣言

本機器は、制御されていない環境に対して規定された FCC 被曝制限に準拠しています。エンドユーザは、特定の操作指示に従い、RF 被曝に関する準拠事項を満たす必要があります。このトランスミッタは、ユーザから 20 cm 以上離して使用する必要があります。他のアンテナまたはトランスミッタと同じ場所に配置したり、同時に操作したりすることはできません。

## FCC レシーバおよびクラス B デジタル装置に関する宣言

この製品はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定されたクラス B デジタル装置の仕様に準拠しています。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合、装置のオン/オフを切り替えると干渉を確認できます。その場合は、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 装置間の間隔を大きくする。
- レシーバ以外のコンセントにその装置を接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオまたは TV 技術者に支援を要請する。

## シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国の法律の対象となります。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意したものと見なされます。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、<http://www.bis.doc.gov/policiesandregulations/ear/index.htm> をご覧ください。

## 重要なオンライン情報

エンドユーザ ライセンス契約書

エンドユーザ ライセンス契約書 (EULA) は次の場所にあります。 <http://www.cisco.com/go/eula>

**『Regulatory Compliance and Safety Information』**

Regulatory Compliance and Safety Information (RCSI) は次の場所にあります。 [http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/cuipp/all\\_models/regulatory\\_compliance/english/install/guide/iphrcsi3.html](http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cuipp/all_models/regulatory_compliance/english/install/guide/iphrcsi3.html)